

## 県内企業研修

◇期 日:令和4年10月14日(金)

◇場 所:16H 株式会社スギノマシン 株式会社榊田酒造店  
イタイイタイ病資料館

17H 株式会社富山村田製作所 株式会社榊田酒造店  
イタイイタイ病資料館

◇参加者:1年探究科学科 80名



私たち探究科学科では、県内企業の取り組みや歴史に対する理解を深めるとともに各自の進路について考えを深めるため、16Hは株式会社スギノマシン、株式会社榊田酒造店、イタイイタイ病資料館の順に、17Hは株式会社榊田酒造店、イタイイタイ病資料館、株式会社富山村田製作所の順に見学してきた。



榊田酒造店では、榊田隆一郎さんのお話を伺った。榊田さんは榊田酒造店の責任者を務めるとともに、岩瀬の店などを改築し、町おこしを行っておられるとても活気に満ちた方だった。榊田さんのお話から、世界を知って視野を広げることの大切さを教えていただいた。また、仕事も町おこしも全力で行っている榊田さんの姿勢は、私たち中部高校の校訓、雰囲気に通ずるものがあるように感じた。後輩として恥じぬよう頑張っていきたいと思った。



富山村田製作所では、メーカーについてのお話を社員である中部高校の先輩にお伺いした後、工場や会社の様子を見学させていただいた。企業の中を間近でみる事ができて、「働く」ということの輪郭が明瞭になったように感じた。

スギノマシンでは、水を押し出すポンプの根幹となるコア技術に応用し、切断、研磨、掘削、洗浄、粉碎、分解など多岐にわたる加工を、水圧を用いて行っていた。その技術力はすさまじく、圧力はダイヤモンドも貫けるほどの威力であり驚いた。なんとマリアナ海溝の水圧の約10倍の威力ということで、マリアナ海溝の水圧が平地の圧力の1000倍以上ということを踏まえると改めてそのすさまじさに驚嘆するばかりだった。そんな水圧ポンプの技術を追究し続けたスギノマシンは、その分野において絶対的かつ圧倒的なシェアを誇っており、全てではなく、限られた分野において全力を注いで競争に勝つというお話を伺い、本当に得意なことを見つけ、その道を極めていくことが大切だと感じた。

イタイイタイ病資料館では、ジオラマや模型などを見たり触ったりしながらお話を伺い、そのときの富山県民のリアルな生活の様子や心情を知ることができた。その後、館内の資料を用いて自分の興味があることをさらに調べ、考えを深めた。イタイイタイ病の原因であるカドミウムの立ち入り調査が最近でも行われていることを知り、まだイタイイタイ病は終わっていないということを実感した。私たちが悲惨な過去を風化させないよう、後世に伝えることの大切さに気付くことができた。

これらの研修を通して、机の上では決して学ぶことのできないような数々の貴重な体験をさせていただいた。今回の研修で学んだことを生かし、日々の授業に目的意識や将来のビジョンを持って取り組んでいきたい。